



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL https://www.fumakilla.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 郷原 和哉 TEL 0829-55-2112
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	34,473	18.1	2,338	—	2,567	—	1,614	—
2020年3月期第3四半期	29,201	6.8	△254	—	△99	—	△936	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,019百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △987百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	97.96	—
2020年3月期第3四半期	△56.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	35,889	18,799	49.0	1,067.45
2020年3月期	39,826	17,165	40.4	976.92

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 17,593百万円 2020年3月期 16,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	0.0	2,200	23.2	2,500	23.7	1,300	68.8	78.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社 （社名）Fumakilla Myanmar Limited、除外 1社 （社名）－

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	16,490,000株	2020年3月期	16,490,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	7,976株	2020年3月期	7,565株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	16,482,253株	2020年3月期3Q	16,482,705株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(経営成績)

(単位：百万円)

指標等	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	29,201	34,473	5,271	18.1
営業利益又は営業損失(△)	△254	2,338	2,592	—
経常利益又は経常損失(△)	△99	2,567	2,667	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△936	1,614	2,551	—
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)	△56円81銭	97円96銭		

(国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率 (%)
国内	14,820	19,216	4,396	29.7
海外	14,381	15,256	875	6.1
合計	29,201	34,473	5,271	18.1
海外売上構成比	49.3%	44.3%		

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により大幅に消費が低迷しました。経済活動の段階的再開で一時的回復の兆しが見られたものの、感染症の再拡大により再び緊急事態宣言が発令されるなど依然として厳しい状況が続いております。世界経済においても、欧米を中心に感染の再拡大が深刻化し、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、コア事業の殺虫剤、家庭用品、園芸用品の成長カテゴリーに新価値創造型新製品を積極的に投入し、既存事業の強化・育成を図るとともに、コストダウンや経費の効率的な運用等による利益構造の改革及び海外事業の強化拡大等の課題に努めてまいりました。

その結果、連結売上高は、前年同期比18.1%増の344億73百万円(為替変動の影響を除くと20.8%増)となりました。

国内売上は、殺虫剤、家庭用品、園芸用品、その他の各部門とも増収となりました。殺虫剤はコロナ禍による在宅勤務や外出の自粛要請など新しい生活様式の広まりにより、身近な日用品の需要が高まったことから市場全体が好調に推移し、当社の殺虫剤売上は前年同期比20.9%の大幅な増収となりました。加えて新型コロナウイルス感染症の対策としてアルコール除菌剤の需要が急激に拡大し増産体制をとった結果、家庭用品売上は前年同期比174.4%増と急激に増加しました。その結果、国内合計では前年同期比29.7%増の192億16百万円となりました。一方、海外売上は、販売・製造ともに新型コロナウイルス感染症の影響が最小限であったことから、各国とも現地通貨ベースで堅調に推移し、円高ベースでは円高の影響を受けましたが、前年同期比6.1%増の152億56百万円(為替変動の影響を除くと11.6%増)となりました。

次に、売上原価ですが、前年同期より25億43百万円増加し239億6百万円となりました。その結果、売上原価率は69.3%で、前年同期より3.9ポイント減となりました。売上原価率の低下要因は、利益性の高い商品の売上構成が増加したことやコストダウン等によるものです。

これらの結果、売上総利益は105億66百万円(前年同期比34.8%増)となり、返品調整引当金調整後の差引売上総利益は106億58百万円(前年同期比32.6%増)となりました。

販管費につきましては、コロナによる緊急事態宣言の解除後から徐々に通常の営業活動に戻っていった中で、広告宣伝を積極的に行いブランドの浸透を図ったことから経費が増加し、前年同期比0.3%増の83億20百万円となりました。

これらの結果、営業利益は23億38百万円（前年同期は営業損失2億54百万円）、経常利益は25億67百万円（前年同期は経常損失99百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は16億14百万円（前年同期は9億36百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

（単位：百万円）

	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	21,638	24,065	2,426	11.2
家庭用品	1,236	3,391	2,155	174.4
園芸用品	1,695	2,148	452	26.7
防疫剤	1,329	1,230	△98	△7.4
その他	3,301	3,637	335	10.2
合計	29,201	34,473	5,271	18.1

殺虫剤部門

殺虫剤部門では、国内の殺虫剤市場はコロナ禍における在宅勤務や外出の自粛要請など新しい生活様式の広まりにより、自宅での生活時間が長くなったことから、身近な日用品の需要が高まった中で市場全体が好調に推移しました。また継続的なプロモーション活動を実施したことや最盛期の天候の後押しもあり返品が減少いたしました。加えて前期は4月～6月の天候不順の影響から市場全体が縮小した影響を受けて売上が減少したため、その反動も含めて前年同期比20.9%の大幅な増収となりました。

一方、海外におきましては、東南アジア各国のいずれにおいても現地通貨ベースで前期を上回り、円高の影響を受けましたが、最終的な円貨ベースでは前年同期比6.3%の増収となりました。

これらにより、国内及び海外の殺虫剤合計の売上高は前年同期比11.2%増の240億65百万円（前年同期比24億26百万円増）となりました。

家庭用品部門

家庭用品部門は、新型コロナウイルス感染症の対策として、主力のアルコール除菌剤の需要が急拡大し出荷が大きく伸びました。加えて、花粉関連商材において直前期に販売した商品の返品が減少した結果、家庭用品合計の売上高は前年同期比174.4%増の33億91百万円（前年同期比21億55百万円増）となりました。

園芸用品部門

園芸用品部門は、新しい生活様式の広まりの中で家庭園芸を楽しむ方が増えたことにより、主力の殺虫殺菌剤や不快害虫用殺虫剤の売上が伸びました。また除草剤も引き続き売上が好調に推移した結果、園芸用品合計の売上高は、前年同期比26.7%増の21億48百万円（前年同期比4億52百万円増）となりました。

防疫剤、その他の部門

防疫剤部門の売上高は、12億30百万円（前年同期比98百万円減、7.4%減）となりました。

その他の部門の売上高は、子会社のフマキラー・トータルシステム(株)のシロアリ施工工事が好調で、36億37百万円（前年同期比3億35百万円増、10.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて39億37百万円減少し、358億89百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物（純額）が4億76百万円、使用権資産（純額）が2億39百万円、建設仮勘定が19億59百万円増加した一方で、現金及び預金が2億22百万円、受取手形及び売掛金が62億56百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて55億70百万円減少し、170億90百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が4億36百万円、電子記録債務が8億45百万円、売上割戻引当金が3億33百万円増加した一方で、短期借入金73億65百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて16億33百万円増加し、187億99百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が12億52百万円、その他有価証券評価差額金が4億87百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が2億70百万円減少したこと等によるものであります。

自己資本比率は8.6ポイント増加し、49.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、当第3四半期連結累計期間の業績は計画を上回る水準で推移しているものの、第4四半期の動向を精査中であることから、現時点では2020年8月7日に発表した通期業績予想を据え置きます。今後の経営環境や業績動向等を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,281,773	6,059,048
受取手形及び売掛金	12,026,983	5,770,197
電子記録債権	205,033	138,113
商品及び製品	4,736,826	4,374,648
仕掛品	898,244	924,021
原材料及び貯蔵品	1,909,521	2,195,452
その他	805,987	1,000,072
貸倒引当金	△782	△717
流動資産合計	26,863,588	20,460,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,599,957	2,076,321
機械装置及び運搬具(純額)	1,658,474	1,608,005
工具、器具及び備品(純額)	204,793	246,799
土地	751,700	745,469
リース資産(純額)	58,624	14,366
使用権資産(純額)	416,141	655,149
建設仮勘定	605,950	2,565,033
有形固定資産合計	5,295,642	7,911,146
無形固定資産		
のれん	743,703	665,293
商標権	617,280	529,480
その他	387,735	336,494
無形固定資産合計	1,748,718	1,531,267
投資その他の資産		
投資有価証券	5,410,488	5,412,927
退職給付に係る資産	37,816	36,238
その他	604,023	672,463
貸倒引当金	△134,063	△135,704
投資その他の資産合計	5,918,264	5,985,923
固定資産合計	12,962,625	15,428,337
資産合計	39,826,214	35,889,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,254,840	4,691,040
電子記録債務	1,474,871	2,320,441
短期借入金	9,904,672	2,539,642
リース債務	90,093	52,194
未払法人税等	375,122	463,814
賞与引当金	416,497	323,597
役員賞与引当金	2,073	401
売上割戻引当金	421,000	754,302
返品調整引当金	637,032	544,708
その他	3,295,082	3,359,934
流動負債合計	20,871,286	15,050,078
固定負債		
リース債務	132,543	146,698
退職給付に係る負債	480,759	508,926
役員退職慰労引当金	532,767	521,440
資産除去債務	9,870	10,010
その他	633,386	852,881
固定負債合計	1,789,328	2,039,956
負債合計	22,660,614	17,090,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698,680	3,698,680
資本剰余金	4,797,107	4,797,189
利益剰余金	6,464,170	7,716,896
自己株式	△6,007	△6,803
株主資本合計	14,953,950	16,205,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,654,685	2,142,065
為替換算調整勘定	△433,882	△704,138
退職給付に係る調整累計額	△72,660	△50,135
その他の包括利益累計額合計	1,148,142	1,387,791
非支配株主持分	1,063,506	1,205,385
純資産合計	17,165,599	18,799,140
負債純資産合計	39,826,214	35,889,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	29,201,682	34,473,431
売上原価	21,362,821	23,906,798
売上総利益	7,838,861	10,566,633
返品調整引当金戻入額	548,765	527,498
返品調整引当金繰入額	350,330	435,173
差引売上総利益	8,037,296	10,658,958
販売費及び一般管理費	8,292,078	8,320,878
営業利益又は営業損失(△)	△254,782	2,338,080
営業外収益		
受取利息	55,747	74,045
受取配当金	113,584	109,573
為替差益	10,033	10,342
その他	99,277	146,740
営業外収益合計	278,642	340,702
営業外費用		
支払利息	43,732	25,604
売上割引	71,753	82,377
その他	8,195	2,856
営業外費用合計	123,681	110,838
経常利益又は経常損失(△)	△99,821	2,567,944
特別利益		
固定資産売却益	8,003	722
投資有価証券売却益	—	4,125
特別利益合計	8,003	4,847
特別損失		
固定資産除売却損	28,872	10,394
投資有価証券評価損	95	17
投資有価証券売却損	1,714	—
関係会社株式評価損	7,244	4,062
役員退職慰労金	—	3,594
投資損失引当金繰入額	2,267	—
貸倒引当金繰入額	—	338
特別損失合計	40,193	18,406
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△132,011	2,554,385
法人税、住民税及び事業税	546,376	724,443
法人税等調整額	44,062	△33,017
法人税等合計	590,438	691,425
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△722,450	1,862,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	213,958	248,289
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△936,408	1,614,670

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△722,450	1,862,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△163,515	487,380
為替換算調整勘定	△114,808	△354,130
退職給付に係る調整額	13,429	23,187
その他の包括利益合計	△264,895	156,437
四半期包括利益	△987,345	2,019,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,224,267	1,826,582
非支配株主に係る四半期包括利益	236,922	192,815

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、Fumakilla Myanmar Limitedは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）への影響に関しては、当社グループでは、各事業拠点において、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しており、生産及び販売への影響は限定的であると見込んでおります。

しかし、本感染症は、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難なことから当社グループでは、当社グループが把握している情報をもとに、今後2021年3月期の一定期間に亘り当該影響が継続するとの仮定のもと会計上の見積りを行っております。なお、当該会計上の見積り及びその基礎となる仮定について、前連結会計年度末から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年12月31日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,599,509	12,977,476	28,576,986	624,696	29,201,682
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,222,108	1,066,639	2,288,747	3,976	2,292,724
計	16,821,618	14,044,115	30,865,734	628,673	31,494,407
セグメント利益又は損失(△)	△1,731,493	1,271,330	△460,162	△22,765	△482,928

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△460,162
「その他」の区分の損失(△)	△22,765
セグメント間取引消去	228,146
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△254,782

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,036,006	13,654,129	33,690,135	783,296	34,473,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,413,246	1,178,684	2,591,931	130	2,592,062
計	21,449,252	14,832,814	36,282,066	783,427	37,065,494
セグメント利益	669,174	1,356,247	2,025,422	76,140	2,101,562

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,025,422
「その他」の区分の利益	76,140
セグメント間取引消去	236,517
四半期連結損益計算書の営業利益	2,338,080

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(事業譲受及び株式取得)

当社（以下当社のグループ会社を含めて「当社」といいます）は、シンジェンタジャパン株式会社のフラワー事業（以下「本事業」といいます）の当社への事業譲渡についてシンジェンタジャパン株式会社と合意し、本事業の譲り受けを決定しました。

(1) 事業譲受及び株式取得の目的

当社は、日本における現状の本事業の事業規模に鑑み、本事業を、当社が構築している各販売チャネルでのガーデニング製品と同時提案することにより、本事業と当社が今後さらに発展できると判断したことから、本事業の譲り受けを決定いたしました。

(2) 相手先の名称及び事業内容

相手先の名称 シンジェンタジャパン株式会社
事業の内容 フラワー事業

(3) 企業結合日

2021年4月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受及び株式取得

(5) 取得価額

当事者間の合意により非開示とさせていただきます。

(6) 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

(7) 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。